

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり菊水元町		
所在地	北海道札幌市白石区菊水元町9条1丁目3-1		
自己評価作成日	平成25年11月20日	評価結果市町村受理日	平成26年1月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域との交流を重要視し、施設、入居者様が孤立しないよう協力体制を築けるよう心掛けております

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成25年12月9日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

白石区の閑静な住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。広い敷地内に同一法人が運営する有料老人ホームと併設して建てられている。近くには河川敷の「桜の社」や米里公園があり、利用者も日常的に散歩を楽しんでいる。中心に広い共用空間があり、事務所やキッチンから共用空間全体を見渡することができる。また、季節の装飾が施され、楽しい雰囲気を作っている。トイレや浴室も使いやすく造られ、エレベーターも設置されている。スタッフが利用者にも明るく話しかけ、利用者もそれぞれが自由にゆったりと過ごしている。社員への教育が行き届いており、段階に応じた研修体制が整備され、利用者への接遇も丁寧である。社員同士のコミュニケーションや協力もよくできている。町内会や地域との交流も活発で、利用者は町内会の「ふれあい広場」に参加して楽しんだり、隣接する有料老人ホームに来る保育園児と交流している。運営推進会議に多くの家族が参加して意見を得たり、毎月の通信や近況報告で利用者の情報を詳しく伝えるなど、家族との情報共有も良好である。介護サービスの面では、アセスメントシートの定期的な更新が行われ、記録類も見やすく整理されている。また、医療支援の面でも往診や訪問看護の体制が整い、安心につながっている。
--

V. サービスの成果に関する項目(とまと館アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域交流を大切にするという理念を掲げ毎朝の申し送り時に職員が唱和し日々実践に努めております。	開設当初に作り上げ、その後文言を加えた理念の中で「地域交流」「思いやり」「一人一人の尊厳」などを掲げ、地域密着型サービスの理念としてを確立している。理念は朝の申し送り時に唱和され、職員は理念を十分理解し日々の介護にあたっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎月町内会で開催している「ふれあい広場」に参加し町内会の方々と共に文化交流を図っております。	利用者は毎月、地域の「ふれあい広場」に参加し、その他の町内行事にも参加している。事業所のバーベキューやクリスマス会でも住民と交流している。隣接する有料老人ホームに保育園児等が来るので、出向いて児童と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年夏に地域交流バーベキューを開催し地域の方々にも広く参加して頂き地域の方々にも認知症の入居者様と一緒に食事を楽しむ機会を設けております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催し地域包括支援センター、町内会、ご家族様にも参加して頂き日常の報告、意見交換を行うと共に、権利擁護に関する講習を行うなど様々な方に参加して頂けるよう努めております。	運営推進会議は2か月毎に開催され、地域包括支援センター職員、町内会長、副会長、地域住民、利用者家族など幅広い参加を得て活発な意見を得ている。最近では高齢者の権利や防災、地域交流などをテーマとしており、議事録も家族に送付している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	常日頃より札幌市、白石区の担当者と常に連絡をとり信頼関係を築き協力体制を整えております。また市、区、消防署などの研修会にも参加し質の向上に努めております。	運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加を得ている。市や区のグループホーム管理者会議に参加し、その際にも情報交換している。また、手続き上の相談事があれば区役所に出向いて、担当者に指導を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間帯以外は玄関の施錠を行わず入居者様、ご家族様、地域の方々いつでも自由に入出入りする事が可能となっております。身体拘束することのないケアに取り組み入居者様が尊厳のある生活を送れるよう努めております。	「身体拘束・虐待防止マニュアル」が整備され、禁止の対象となる11項目についても職員に理解を促している。玄関は夜間のみ施錠しており、日中は自由に入出入りできるようになっている。出入りがあれば、チャイムやセンサーで分かるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は社外・社内の研修にて高齢者虐待について学び、各自が実践に努めております。		

グループホーム みのもり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議を活用し権利擁護に関する講習会を開催し利用者様、ご家族様に情報を提供すると共に、管理者、職員は研修に参加しご家族様からの相談に乗ることができるよう努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には面談、見学を行って頂き疑問には誠意を持って説明しご理解、納得して頂けるよう努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「意見箱」を設置すると共に、日頃からご家族様ととの対話を心がけご家族様から寄せられた意見などは個人ファイルの特記事項に記載し職員間で共有しております。	運営推進会議に多数の家族の参加がある。家族の来訪時や通院同行時にも意見を得ており、得られた意見は月間ケース記録に記載して共有している。毎月の「みのもり通信」や近況報告で利用者の様子を家族に詳しく伝えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は日常的に職員との対話を大切にし職員間においても日常的、またはユニット会議など話し合いの機会をもっております。会議で提出された意見は内容により事業所管理者会議や社内会議で検討し現場に反映されております。	毎月ユニット会議があり、職員間で活発に意見交換を行っている。職員意見は全社の会議にも報告されている。管理者と職員は年2回の個別面談を行っている。職員は行事や通信、献立作成などを分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は年2回の個人面談を持ち職員個々との意見交換を行うと共に職場環境の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内に研修課が設置されており入社後6ヵ月研修、1年研修、3年研修を実施している。その後は中堅者研修、主任・副主任研修・管理者研修が設定されており職員の技術向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修や地域のグループホーム部会の講習会に参加することで交流・情報交換を行っております。更に社内間においても研修や他事業所見学を実施しており社内間での交流も活発に行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人様やご家族様、ケアマネージャー等とカンファレンスを行い、情報共有を図ると共に要望等を明確にし安心できる環境作りを心掛けております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメント作成時にご家族様に御協力頂き、その中でご家族様からのご要望を伺い互いの理解を深め入居者様だけではなくご家族様をも支援できるよう関係作りを心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様の「できること」「できないこと」の見極めとご本人様、ご家族様の要望とを鑑みその時その時に必要なサービスを提供できるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活を共に過し入居者様の役割を見出し協力しあい生活していくよう支援しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様にも施設で開催される多くの行事に参加して頂き入居者様との関わりを増やし家族の絆を深めて頂けるよう支援しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前より通われていた病院等にはご家族様の御協力を頂き継続し通院して頂けるよう支援しております。また、個室によりプライバシーを尊重しご家族様やご友人の来訪時にはお茶をお出ししゆっくりと寛げる様環境を整えております。	利用者の友人や知人が事業所を来訪したり、友人に電話をかける際にも支援している。利用者と一緒に教会やお墓参りに行ったり、希望を聞いて回転寿司やレストランなどへ個別の夕食にも出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事や行事など入居者様同士が一緒の時間を楽しく過ごす事ができるようお一人お一人の個性等も考慮し支援しております。		

グループホーム みのもり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も折に触れご連絡しご家族様の相談にのれるよう関係の継続に努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で個別の外出、時間など話しやすい環境を作り入居者様の想いを汲み取れるよう努めております。	言葉で思いや希望を表出できる利用者は7割程度で、難しい方場合は職員が選択肢を示し、その際の反応や態度などから把握している。利用者の基本情報は、センター方式のアセスメントシートを半年毎に更新し情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様にも協力頂きセンター方式を活用することで入居者様それぞれのこれまでの生活を生かせるよう支援しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り、記録、カンファレンスを通じて職員間で情報の収集・分析に取り組み適宜対応しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ユニット会議にて個別のカンファレンスを行い変化がある場合はご家族様と連絡、協議し対応できるよう心掛けております。	介護計画は6か月の定期的な見直しと、随時の見直しを行っている。モニタリングを基にサービス担当者会議で評価を行い、次の計画を作成している。日々のケース記録に介護目標を印刷し、実施状況をチェックしながら記録している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別に対応したケース記録を作成し職員間での情報共有に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の御協力のもと主治医の往診、訪問看護師、鍼灸師など個人のニーズに対応し様々なサービスを活用できるよう支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の方には、運営推進会議や行事・避難訓練等に参加して頂き普段より入居者様のことを理解して頂き火災、天災時には協力して頂けるよう体制を整えております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科主治医、歯科医師の往診の他、毎週の訪問看護師往診の体制がとれております。	提携医療機関による月2回の往診があり、週1回の訪問看護師による健康チェックも受けている。他のかかりつけ医の受診も家族対応が難しい場合は事業所で支援を行っている。受診内容を月間ケース記録に記載し共有している。	

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の往診時状況を報告・相談し指示を頂き入居者様の健康管理に努めております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日ごろより主治医との連携を図り状態に変化が生じた場合には専門の医療機関を紹介して頂ける様体制を整えております。その上で入居者様が入院された際はお見舞いに伺い状態の把握、医療機関、ご家族様と情報交換を行い早期退院に向け支援しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用契約時に「重度化・看取りに関する指針」をご家族様に説明しご家族様、職員とで方針を共有し取り組んでおり医療機関との連携がとれる体制となっております。	利用開始時に「重度化・看取りに関する指針」を家族に説明して医療連携同意書を交わし、実際に看取り介護を行う場合は、さらに看取り介護の同意書を交わしている。職員はターミナルケアの研修などを受講し、体制整備を進めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を定期的に受講し学習しております。緊急時には主治医、ホーム長に指示を仰ぎ対応しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の立会いのもと、日中・夜間を想定した避難訓練を実施し、町内会の方々にも参加して頂いております。また緊急連絡網においても近隣の方々の協力を得ております。	年2回、消防署の指導のもと昼夜を想定した避難訓練を実施しており、地域住民の参加や協力も得られている。職員は救急救命訓練を定期的に受講しており、災害時に必要な備蓄品も準備ができています。	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様お一人お一人を人生の先輩として認識し、尊厳を損なわない対応、言葉遣いを心がけております。	利用者の言葉や動作を注意深く見守り、丁寧に接している。利用者の聞こえる所では、部屋番号で申し送りプライバシーに配慮している。記録をスタッフルームで行い、個人情報適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各入居者様に合わせた個別の対応を行い思いを表出しやすい環境づくりが出来るよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は業務優先とならない様努力しお一人お一人の生活に合わせた過ごし方ができるようゆとりのある体制作りを心がけております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を活用し入居者様の個性に合わせたカットやパーマ、毛染めなどを楽しんで頂いております。		

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりのADLに合わせた食事形態で提供し可能な限り自分で食事を行って頂ける様配慮しております。	献立に利用者の好みを取り入れ、彩りと品数を多くしてユニット毎に別メニューを提供している。誕生日には希望を聞いて、外食や寿司などの出前を取って祝っている。中庭で食事を楽しむこともある。利用者は能力に応じて盛り付けや食器洗いなどに参加している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の水分摂取可能量、食事摂取可能量、形態を考慮し、またお好みのものを提供することで無理なく摂取して頂けるよう支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月2回の歯科往診とあわせ、毎食後の口腔ケアを実施しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し尊厳に配慮し声掛け、介助を行っております。	日中や夜間もできるだけトイレでの排泄を支援し、トイレとの自覚を持つことで自立につながっている。利用者に合わせた声かけや誘導を行い、羞恥心に配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医指示のもと下剤の調整を行うと共に水分摂取の工夫等を行い排便コントロールに取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様の衛生面に配慮し、又、好まれる時間帯等も合わせ個別の入浴支援を行っております。	午後の時間帯に、利用者の希望を聞きながら、3日に1回を目途に入浴を支援している。入浴を嫌がる場合は無理強いをせず、曜日の変更や声かけを工夫している。利用者の状態を見て2人で介助し安全面に配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不安なく睡眠できるよう個別に傾聴、水分提供、寛げる空間等に配慮し安心を提供できるよう心がけております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師と協力体制をとり薬剤管理を行うと共に職員は各入居者様の服薬内容を把握し確実に服薬が行えるよう日々努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合わせた時間の過ごし方ができるよう個別ケアを重視し取り組んでおります。		

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(とまと館)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は入居者様同士誘い合わせお散歩など楽しんで頂けるよう支援しております。また、春と秋にはご家族様にも参加して頂き入居者様全員の参加の外出行事を行っております。	近くの「米里公園」や河川敷の「桜の杜」を散歩し、車椅子使用の方も一緒に楽しんでいる。毎月、地域の「ふれあい広場」に参加する利用者や、買い物を希望する時には同行している。冬季も希望に応じて個別の支援や雪まつり見物に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	定期訪問の移動パン屋や併設の有料老人ホームで開催される移動販売などで好みのものを自ら購入できるよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所の電話は共有とし入居者様にも自由に使用して頂けるよう、また必要に応じ取次ぎなど行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの敷地内には桜の木を植え、1階ベランダの外に花壇を作り季節ごとの花を植え季節の変化を居ながらにして感じて頂けるよう環境整備すると共に季節ごとの装飾など工夫を凝らしております。	共用空間は開放感があり、広々している。居間には絵本類、縫いぐるみ、観葉植物などが置かれ、食卓テーブルやソファなどでゆっくりで過ごせるように工夫している。3か所のトイレは居間から見えにくい場所にあり、プライバシーにも配慮されている。クリスマスの飾りや通信などを掲示し、落ち着いた温かい雰囲気である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング空間の家具の配置、廊下のベンチ、外玄関横のベンチ等様々な空間のアレンジを行い入居者様に合わせ居場所を得られるように工夫しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用されていた家具やなじみのある物品、仏壇、ご家族の写真などご本人様が大切にされていたものなどを継続して使用頂けるよう支援しております。	廊下から少し奥に入った居室の入り口には、名前を表示しないで、代わりに暖簾を掛けたり、色違いの花束を飾るなどして自室が分かるようにしている。馴染みの家具類や小物類が持ち込まれ、壁には家族の写真や利用者の作品などを飾り心地よい空間になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室前には色に変化をつけた造花を設置したりトイレなど分かりやすい目印となるものを設置し可能な限り自立した生活が送れるよう支援しております。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502512		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホームみのり菊水元町		
所在地	北海道札幌市白石区菊水元町9条1丁目3-1		
自己評価作成日	平成25年10月25日	評価結果市町村受理日	平成26年1月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「とまと館ユニット」に同じ

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=0170502512-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成25年12月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(めろん館アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム理念を作り改善し、毎朝朝礼で理念を唱和し理念実現に向け日々取り組んでおります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会のふれあい広場、花植え、お祭などに参加し町内の方々と交流をとっております。毎年、踊り等のボランティアの訪問も受けております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年、地域の方やご家族様にご参加頂き、地域交流バーベキュー、クリスマス会を行い、認知症の方と過ごし関わりをもって頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の際、地域包括支援センターの職員に「成年後見制度」「日常生活自立支援事業」の講習会を行なっていただき、町内の方々にも参加していただきました。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	白石区や札幌市の連絡会や研修会に参加し情報交換行い、担当者とも日頃より連絡を取り合っております。区の消防署の講習会にも参加しサービスの向上に努めております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間以外は玄関の施錠をせず入居者様や来訪者の方々が常時出入り出来ております。入居者様が安心して生活できるよう身体拘束ゼロの支援に取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し、学び、高齢者虐待防止に向けて日々努力しております。		

グループホーム みのみり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議で講習会を行い入居者様、地域の方、ご家族様に参加いただき理解していただき、職員も研修に参加し学び、支援しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学に来ていただき、面談をおこない、少しでも疑問に思うことはご説明し、十分に納得してから契約を行えるように取り組んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱設置し、ご家族様の来訪時や電話連絡の際に頂いた要望やご意見を特記事項に記載し職員間で話し合い行っております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者と職員は日頃から対話をする機会があり毎月行われているユニット会議でも意見交換の場をもっております。職員からの要望は管理者会議や社内会議で提案し、現場に反映されています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は職員と夏・冬に個人面談を行い、職場環境の整備に努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入社後より6か月、1年、3年、中堅者、主任・副主任、管理者研修を社内で開催しており、社外研修にも参加しスキルアップ出来るよう支援をしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修、区内のグループホーム主催による講習会に参加し、職員間で情報交換や交流を行っています。社内でも研修や他事業所へ見学研修、情報の交換行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前にご本人様、ご家族様と面談行いご本人様に安心して入居いただけるように不安や要望を聞き関係作りに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にセンター方式のご記入を依頼しご家族様の要望などご記入いただいたり、お聞きしたり、話し合いを行い支援できるよう取り組んでおります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様のニーズを引き出し、その時に合った要望を取り入れるようにご家族様にご協力いただいたりご本人の必要としているサービス提供ができるよう支援しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様が日々の生活の中で出来そうな事や馴染みのある事へのお手伝いや共有できることを汲み取り関係作りを行っていく。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様に受診のご協力を頂いたり、行事にお誘いしご参加いただくことで家族の絆を深め関係作りを支援していく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から通われている宗教の集まり、お墓参り、病院へ通院できるようご家族様や職員付き添いのもと支援しております。ご家族様やご友人の来訪時にお話しされたり、電話連絡をされることでご関係を保たれております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食堂でのお食事やおやつ時や外出行事を共に過ごされることで個々の支援を行いながら入居者様同士の関係作りを行っております。		

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も葉書など郵送しご家族様のご相談にのれる様関係の継続に努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の関わりで夕食やお買い物、散歩など個々の思いを受け取り、支援できるよう努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	馴染みの家具や置物をお持ちいただいたりご家族様の写真を飾ったり、ご家族様にご協力いただいたセンター方式に書かれている内容を反映できるよう支援しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録、申し送り、連絡ノートで情報の収集や交換を行い、毎日の状態を把握しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式を元にケアプラン作成し毎月のユニット会議でカンファレンスを行い、状態が変わればご家族様、主治医と話し合い対応しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケース記録に日々の記録を行うことで情報の収集を行いサービスの見直しや介護計画に活用しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様にご協力頂き、病院受診、主治医の往診、鍼灸師など個人のニーズに対応したサービスの支援に取り組んでおります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会のふれあい広場に参加されたり、町内の方に運営推進会議や避難訓練に参加していただき入居者様との関わりをもっていただき支援していただけるように体制作りを行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科の主治医、歯科の主治医、毎週内科の看護師、社内から訪問看護師の往診の体制を作っております。		

グループホーム みのもり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師往診の際、状況を報告、相談して指示を頂き入居者様の健康管理を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当の主治医と連携を図り入居者様に異変が起きた際は指示を頂き、医療機関へ受診が出来るように体制が出来ております。入院された場合はお見舞いにお伺いし状態を把握し医療機関、ご家族様と情報交換を行い、共に早期退院に向け支援しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご契約時に「重度化・看取りに関する指針」をご家族様へ説明行い方針を共有し取り組んでおります。医療機関とも連携がとれる体制になっております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を定期的に受講し学んでおります。緊急時は、主治医、ホーム長に指示を仰ぎ対応しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回日中・夜間を想定した避難訓練を実施。町内会の方々にも参加していただき体制を作り、緊急連絡網で近隣の方々にご協力いただいております。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	社内の講師から接遇を学び、言葉遣いや入居者様への対応は日々心がけております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の入居者様に合わせた対応を行い、思いや希望を表出しやすい環境作りや声掛けができるよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の業務が優先しないよう努力し、一人ひとりの生活に合わせゆとりある環境づくりができる様に努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容を活用し入居者様の個性に合わせてカット・パーマ・毛染め等行っております。		

グループホーム みのもり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様のADLIに合った食事形態で提供し出来る限り、ご自分で召し上がって頂ける様、支援しております。お手伝い可能な方には無理のない程度にお願いしております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量・食事量を記録し、お好みの物を提供することで無理なく確保できるよう支援しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月2回の歯科往診で口腔内のチェックとアドバイスを頂き、毎食後のケアを実施。ケア困難な方には介助を行い、支援しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、トイレで排泄して頂ける様に支援しております。夜間ポータブルトイレを使用なさっている方も日中はトイレを使用させて頂いております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床後に乳製品を提供しております。排便の有無を記録して便秘予防に努めております。必要に応じ医療機関と連携を図り薬を処方して頂き便秘予防に取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時間・入浴剤などのご希望を伺い、その日の状態に合わせて浴槽台等を利用し、個々の衛生面に配慮し入浴を楽しんで頂ける様に支援しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に合った生活リズムの見直しをし、安心して睡眠できるようにその人に合った寝具や環境作りに配慮していけるよう心がけております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の準備後2名でチェックし服薬後の確認も別のスタッフがしております。お薬の情報書を確認し、確実に服薬が行えるよう努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様が居室で飲食される嗜好品の購入や外出など個別ケアを重視し取り組んでおります。		

グループホーム みのり菊水元町

自己評価	外部評価	項目	自己評価(めろん館)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候により近隣の公園での散策を楽しんで頂いたり、お買い物、ドライブなど支援行っております。春・秋にご家族様にご参加いただき全員参加の外食行事を行っております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	各入居者様の能力に応じてお金は所持して頂いております。併設の有料老人ホームで開催される移動販売を利用されたり、買い物へ出掛けられたり好みの物を購入できるよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	スタッフルームの電話は共有しており自由に使用して頂いております。また、必要に応じて取り次ぎ行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清掃は毎日行い、共有スペースは季節のディスプレイ等を設置し四季を感じて頂けるように配慮し、ゆっくりと過ごして頂けるよう工夫しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには食卓テーブルやソファを設置し、廊下にも椅子を配置し、会話ができる環境や、お一人でも過ごせる環境作りを心がけています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご家族様と相談し、馴染みある物や大切にされていた物を持ち込んで頂き、安心できる空間作りを支援しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の尊厳に配慮し洗濯が出来るよう支援行い、料理のお手伝いも出来る範囲で行っていただいております。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム みのり菊水元町

作成日：平成 25年 12月 24日

市町村受理日：平成 26年 1月 6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケース記録に介護目標を載せて実施した際にチェックを入れているが、詳細が記録されているかが分かりにくい。	スタッフやご家族様が見ても分かりやすい記録を行う。	介護目標の番号を記載し、実施した詳細を記入。	半年
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。